



火災・救急件数（平成30年速報値）

- ◆火災 97件【前年比 +2件】
- ◆救急 23,570件【前年比+1,059件】



地震への備えはできていますか



1月17日は、阪神・淡路大震災が発生して24年が経過した日となります。震災から得た教訓を風化させないことが大切です。

市川市を含む千葉県では、近年、防災対策の必要性が高まっています。

そこで、地震への備えを家族等と話し合い、避難場所を確認しましょう。そして災害への意識を一層高めることが重要です。

・千葉県における地震の発生確率

30年以内に震度6弱以上の大規模な地震の発生確率は85%であり、千葉県が全国で最も高くなっています。（地震調査委員会の全国地震動予測地図より）

・昨年、日本各地で発生した主な地震

月日	時間	震源地	震度
4月9日	1時32分頃	鳥取県西部	震度5強
5月25日	21時13分頃	長野県北部	震度5強
6月18日	7時58分頃	大阪府北部	震度6弱
9月6日	3時07分頃	胆振地方中東部	震度7

緊急消防援助隊とは

緊急消防援助隊は阪神・淡路大震災を教訓に平成7年に創設されました。

大規模災害や特殊災害などが発生したとき、日本各地の消防本部から応援部隊が駆けつけます。この応援部隊を「緊急消防援助隊」といいます。地域を超えて消火・救助・救急活動を実施します。

また、緊急消防援助隊の消火・救助技術や指揮・連携活動能力等の向上を図ることを目的として平成8年度以降、毎年、全国を6ブロックに分けてブロック単位で合同訓練を実施しています。

関東ブロックの訓練は昨年11月30日～12月1日に神奈川県で実施されました。

市川市消防局が緊急消防援助隊として出動した災害

年別	災害名・活動場所	隊数・人員
平成16年	新潟県中越地震・新潟県小千谷市	4隊 16名
平成23年	東日本大震災・岩手県陸前高田市及び福島県福島市	17隊 52名
平成27年	関東・東北豪雨・茨城県常総市	2隊 8名



〈平成23年東日本大震災 岩手県 陸前高田市〉
資機材を携行し活動現場へ

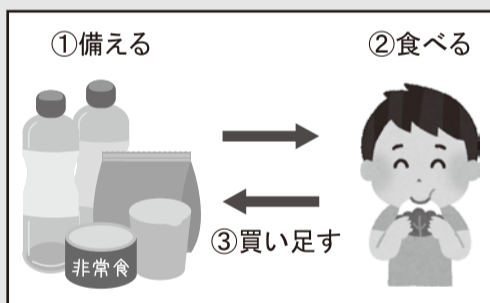


〈平成27年茨城県常総市〉
検索活動を実施

知っておきたい
防災知識

ローリングストック法

長期保存ができる非常食を賞味期限ギリギリまで備蓄しておくのではなく、保存性のよい食べ慣れた缶詰やレトルト食品を定期的に食べ、常に新しいものを備蓄することで賞味期限切れや保管場所を忘れるといったことを防ぐことができます。



市川市消防局からも応援隊として 阪神・淡路大震災に出動しました



平成7年 阪神・淡路大震災 活動、被害状況写真



倒壊した建物の中を検索



活動の合間に休息



倒壊建物を次々と検索



高速道路が倒壊した状況

緊急走行にご協力をお願いします

○なぜ道を譲らなければいけない

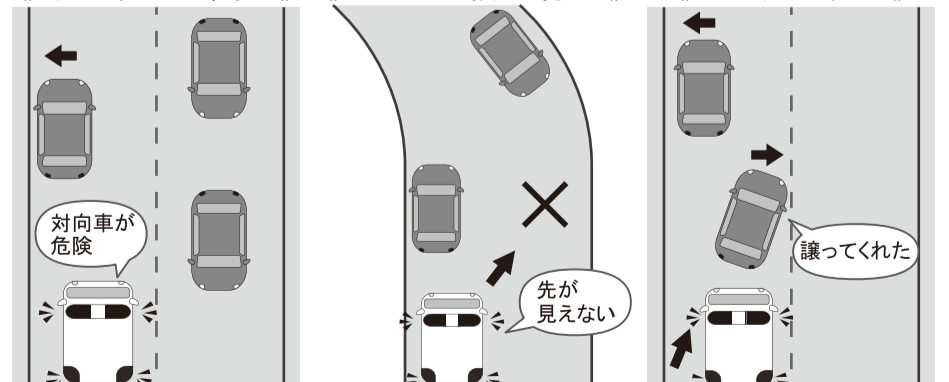
消防車や救急車は一刻も早く火災などの災害現場に急行して消防活動を行い、被害を最小限に食い止めたり、応急処置を行い、急病人などを速やかに病院へ搬送したりしなければなりません。

このため、道路交通法では消防自動車等が緊急時に迅速に通行するため、「緊急自動車」として、一般車両よりも優先して走行することが認められています。

消防局では、緊急走行時に赤信号の交差点を進入する場合は、停止線の直前において一時停止し、他の通行中の車両等が停止したことを確認後、徐行して通過することとしていますのでご協力ください。

○よくある事例集を紹介します

《対向車の無関心》 《カーブ手前の停止》 《二重追い越し》



（左車線の車が道を譲っても、対向車線が止まらないと安全に追い越せません）
 （カーブの手前で停車すると、対向車が見えないため、安全に追い越せません）
 （自分が譲ってもらえたと勘違いして結果的に二重追い越しになってしまう）

日常に潜むスプレー缶・カセットボンベの“火災危険”

日常生活で便利なスプレー缶、カセットボンベには多くの危険が潜んでいます。誤った取扱い、ちょっとした不注意によって、爆発や火災を引き起こし負傷する事故が発生していることを知っていましたか？

昨年、札幌市で発生した爆発事故は家庭でも起こり得るガス引火の怖さと、スプレー缶の適切な使用、廃棄を再確認する契機となりました。

⚠️ 普段、こんなことをやっていませんか

- ・キッチンで調理をしていると、突然、ゴキブリが出現したため慌てて殺虫剤を噴射。
- ・明日はスプレー缶の回収日。使い切ってゴミに出すため、調理中のコンロ横の流し台で中身のガスを抜く。
- ・カセットコンロに大きな鉄板をのせて、バーベキューをしている。



⚠️ スプレー缶・カセットボンベの使用及び廃棄時の注意点

- ▽噴射中や噴射直後には火気を近づけないでください。
 - ▽暖房器具の近くなど高温になる場所に置かないでください。
 - ▽使い切れない場合、風通しの良い屋外で中身を出しましょう。最後はガス抜きキャップでガスを出し切りましょう。
 - ▽火災や爆発事故の恐れがあるので、市川市では、必ず使い切ってから「燃やさないごみ用」の指定袋に入れて出してください。
- 穴を空ける必要はありません。**



知っていますか「着衣着火」のこと



「着衣着火」とは、調理中のガスコンロや仏壇のろうそくの火などが、「着ている服」についてすぐに燃え上がる現象を言います。衣類の袖口などから着火するケースが多く、腹部などから燃え出すと大変危険で、重度のやけどや死亡にまで至ってしまう恐ろしい現象です。

毎年、着衣着火により全国では100名前後の方が亡くなり、**厚着をする冬場・食事の支度の時間・高齢者・女性**の割合が高くなっています。

「着衣着火」は、ちょっとした不注意で**誰にでも起こり得る**現象です。

「着衣着火」を防ぐために

衣服に火が燃え移ると、重度のやけどや死亡事故につながってしまうことを理解しておくことが大切です。防災製品を使いましょう。

このラベルが目印です。



エプロンやアームカバー、パジャマなどの衣類に防災品を選ぶと、着衣着火による被害を最小限に止めることができます。

防災製品は、着衣着火を防ぐことができるだけでなく、身の回りに潜む多くの火災危険から守ってくれます。

もしも「着衣着火」が起ってしまったら

※衣服に火がついた場合には、手で消すことは困難です。

1. すぐに身の回りにある水をかぶって、消火してください。
2. 身近に水がないときは、走り回らず、その場に転がって、燃えているところを地面に押し付けて、消火してください。

「①ストップ!
②ドロップ&
③ロール!」



- ①火の勢いを大きくさせないために、まずはその場に止まってください。
- ②地面に倒れ込み、燃えているところを地面に押し付けるように、体と地面をくっつけます。体と地面の間にできるだけ隙間をつくらないようにしてください。
- ③地面に倒れたまま左右に転がります。転がることで衣服についた火を窒息消火させます。両手で顔を覆うようにして顔へのやけどを防ぎましょう。

文化財を火災から守ろう



1月26日は「文化財防火デー」です。

文化財防火デーは、昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建築物である奈良県法隆寺の金堂で壁画が焼損したことを教訓に「先人たちが残した文化財を火災から守ろう」ということで昭和30年に制定されました。

中山法華経寺の主な重要文化財



祖师堂



五重塔



関係者、消防機関による一斉放水

消防局では、文化財を火災や震災から守り、文化財愛護思想の普及高揚を図るため、関係者、地域住民と消防機関が一体となった消防総合訓練を実施します。

【日 時】平成31年1月25日(金)10時～(小雨決行)

※中止の場合は6時に決定

(消防局テレホンガイド333-3636でご確認ください)

【場 所】中山2丁目10番 日蓮宗大本山正中山法華経寺

【問い合わせ】東消防署 334-0119